

第3回公共複合施設整備市民検討委員会での主なご意見に対する対応状況

※ご意見については議事録から要旨を抜粋しております。

※会議にてご回答済のご意見は省略しておりますので、前回の議事録をご覧ください。

委員：駐車場に設置するイベント用の排水桧については、要望をした委員に意見を聞いて決めていただきたい。

対応状況：後日打合せをさせていただき、駐車場の北側と東側の緑地帯に、排水桧2か所、散水栓2か所、簡易配電盤1か所の設置希望ということを確認しました。現在、確認した内容を設計に反映できるよう設計業者に伝え、協議しております。

委員長：敷地南側からのアクセスを考えると、少し分断されるような形になっている。回遊性が大事になるので障害しないように、例えば横断する部分の色を変えていただく等検討いただきたい。

対応状況：BM車庫前の路面舗装について、分断されずに回遊性を向上させるため、通路が連続するような形になるように舗装の種類と色を変える対応をいたします。

委員：一時預かり室は、スタッフ室を個室として利用出来ればよいと思う。

対応状況：一時預かり室のスタッフ室は使い方も名称も確定しているものではなく、部屋自体は個室として使える作りになっていますので、運用実態に合わせて柔軟に対応できるように検討しています。

委員：図書館内にはデザインや景観上の問題があるのであれば、透明な仕切りは考えられないか。

子供にはマナーを教えることは必要であるが、大声を出したり走り回ったりする子もどうしてもでてくるので、目隠しにならない程度でも仕切りを模索する余地はあるのではないか。

対応状況：静かに本を読む方だけでなく、小さなお子さんを連れた方等も含めて、同じ空間でそれぞれ快適にご利用いただきたいので、話し声や子供の声などの多少の騒がしさは許容する考え方をしております。

また、腰程度の高さの仕切りでは防音効果はほぼ見込めず、防音できるほどの高さの仕切りを作ることは難しいことから、仕切りを設けることはできないと判断しました。その代わりに、仕切りによらず、床のカーペットの色分けで視覚的にエリアが分かるような方法など、引き続き検討していきます。

委員：児童受付カウンターは一般のカウンターと併せて対応できる方が適切だと考える。

児童受付回りの自動貸出機と検索機の所には、読書通帳機も並べて設置してほしい。

裸足スペースは小上がりではなく段差がない方が良い。

お話しコーナーはどのような作りになるか。

ティーンズコーナーは児童コーナーの一角でない方が良い。

移動図書館車両が駐車場を通らず最短で道路に出入りできるように、敷地南東角に出入口を作れないか。

対応状況：児童受付カウンターは一般受付カウンターと併せて1か所にまとめました。また、カウンターをひとつにまとめることで、読書通帳機を受付カウンターに配置し、子どもだけではなく大人にもご利用いただけると考えております。

裸足スペースは子どもが座ったり寝ころんだりできる場所と考えていますので、土足のエリアと完全に分けるために小上がりにし、段差の下に脱いだ靴を収納できるようにしています。段差の高さは10cm程度です。

お話しコーナーは直径3m弱程度のドーム型のスペースで、子どもが絵本の世界に集中できるようなつくりです。多人数で読み聞かせをするほどの広さは無いため、親子での読み聞かせ等、個人で使っていただく想定です。多人数の読み聞かせ会等は、学習室兼視聴覚室や共用部の多目的室を使っていただく想定をしています。

ティーンズコーナーについては、児童コーナーの一角ではなく、一般図書コーナーの最も入口側の書棚に変更しております。

車両の出入口については、道路通行の安全確保の観点から必要最小限にする必要があるため、現在の計画の2か所から更に増やすことは難しいと考えております。

委員：カフェは離乳食が提供されたり、子どもも食べられるものを提供するという点を重視してもらえると、親子連れも何回も来たくと思う。

対応状況：離乳食の提供については、調理したものを提供する場合、乳児のアレルギー対応や細菌感染対策等、厳重なりスク管理を求められることから難易度が高いため、調理したものを提供するのではなく、パウチ入りの調理済み離乳食を販売、提供するという点を検討できるのではないかと考えております。